

令和6年度 学校だより は が き た

学校づくりアンケート号 令和7年2月

教 育 目 標

集中して学び、生命と人権を守り、郷土を愛する心
をもち、生きる力の基礎を身に付けた子どもを地域と
協働して育成する。『学ぶ子 守る子 がんばる子
ふるさとをおもう子』

児童・保護者の皆様に御協力いただきました「学校づくりアンケート」
の集計が終わりましたので、結果をお知らせいたします。

アンケート項目は、児童と保護者で若干の表現は異なりますが、対比で
できるような項目になっております。なお、各項目の下には、それぞれの結
果に対する学校側での考察およびコメントを掲載しました。

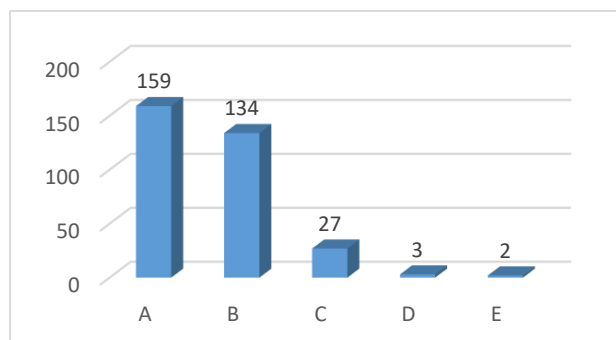
(グラフに付記してある数値は、全て人数となっています。)

- A よくあてはまる
- B ほぼあてはまる
- C あまりあてはまらない
- D まったくあてはまらない
- E よくわからない

確かな学力について

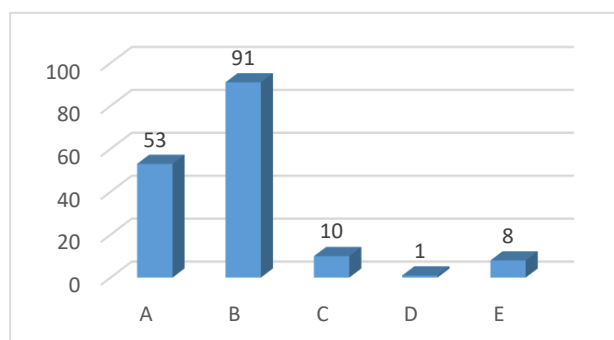
児 童

Q1:授業の内容がよく分かる。



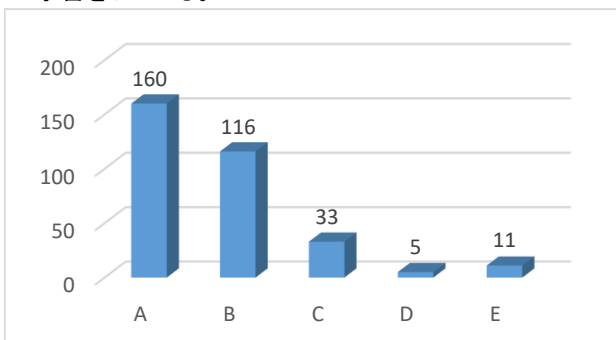
保 護 者

Q1:学校は、子どもに、楽しく、わかりやすい授業を提供している。

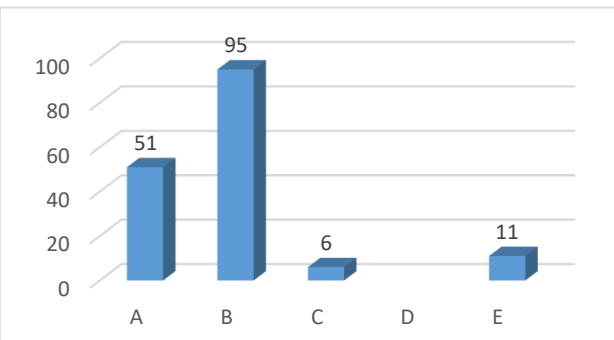


A (よくあてはまる)・B (ほぼあてはまる) を合わせた肯定的な意見は、児童の回答で90.2%、保護者回答でも88.3%である。保護者からは「個性を生かした指導を丁寧に行ってください」という回答を頂いている。しかし、児童の回答の中には「授業がちょっとわからない。」というものもあるので、今後も成果や課題を教職員全員で検証し、深い学びにつながる授業改善を続けていきたい。

Q2:「みんながわかる、みんなでわかる」を目指し、学び合い学習をしている。

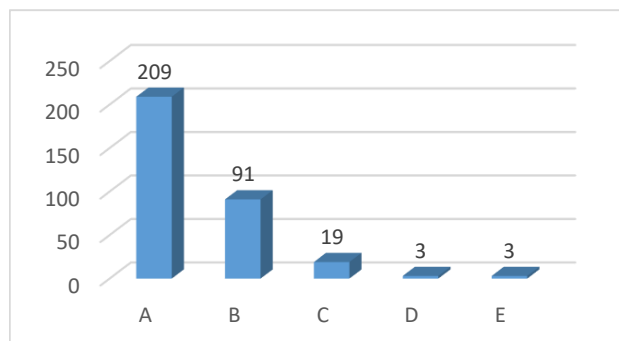


Q2:学校は、子どもの学び合う力を向上させている。

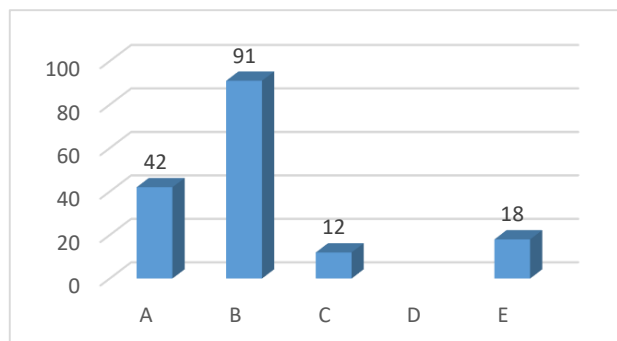


A・Bを合わせた肯定的な意見は、児童84.9%、保護者回答は89.6%である。本年度も外部指導者をお招きし、「学び合い」の授業研究会を2回実施した。お互いの意見を聴きあいながら、お互いの考えをつないでいく学び合い活動を授業の中に取り入れてきた成果が現れ、定着してきた。今後も、子ども達の発言を生かしながら学習を深める機会を多く設けていきたい。

Q3:授業に一生懸命に取り組んでいる。

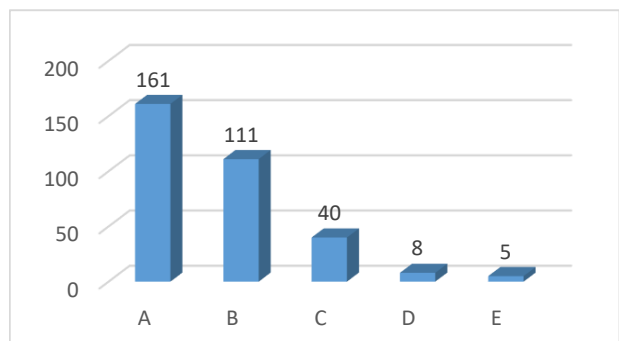


Q3:学校は子どもの学習意欲の向上を図っている。

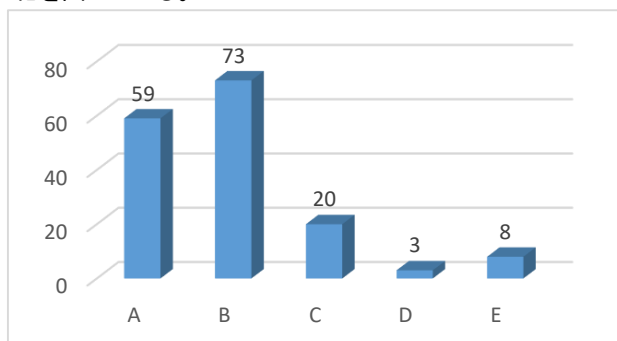


A・Bを合わせた肯定的な意見が児童が92.3%、保護者が81.6%である。更に一生懸命授業に取り組む児童が増えている。今後も、児童が自ら進んで楽しく学べる授業を展開することが大切である。また、保護者回答から、「色々な学習活動にも取り組んでほしい。」といった意見もあるので、豊かな学習活動で学びを深められるように設定していきたい。

Q4:家で家庭学習の仕方・習慣が身に付いている。

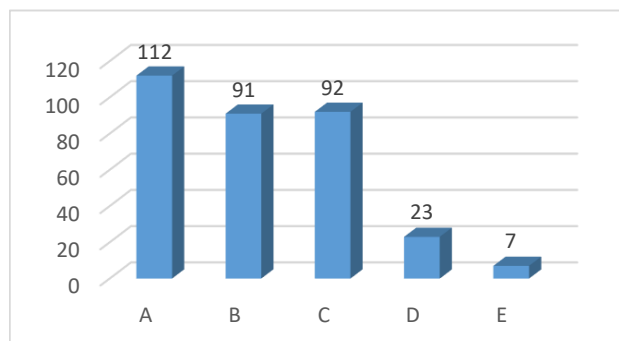


Q4:学校は子どもの家庭学習の仕方を指導したり、習慣化を図っている。

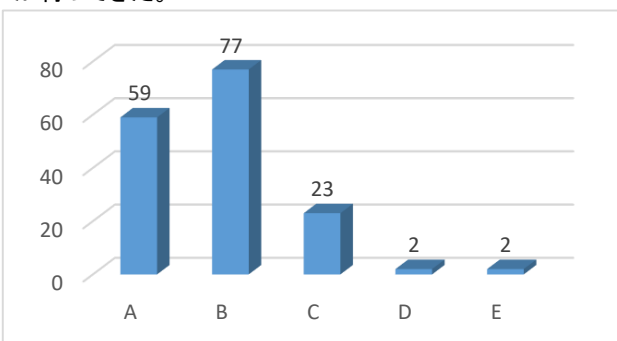


家庭学習の仕方・習慣については、A・Bを合わせた肯定的な意見が児童83.7%、保護者81.0%となっている。学力の向上には、家庭学習の充実も重要な一つであることから、学校と家庭が連携し、その方法を確立していけるよう改善を図ってきた。本年度も「自主学習強調週間」の設定や「自主学習の広場」の設置、児童表彰など、児童の意欲喚起や意識向上に取り組んできた。

Q5:自分の考えを発表することができる。



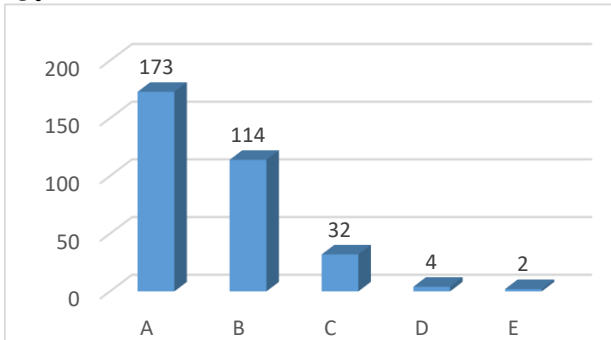
Q5:子どもは家庭でも自分の意見をはっきり発言する力が育ってきた。



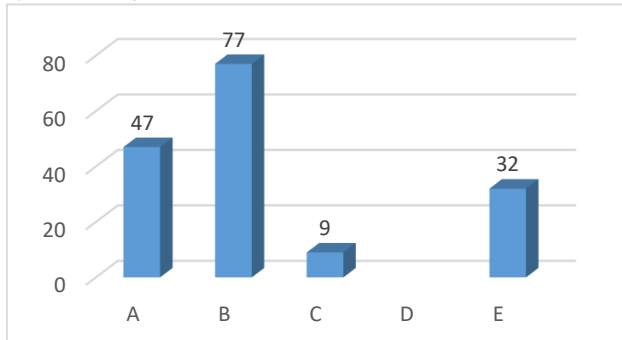
自分の意見や考えを発表することができるかについては、児童は62.5%、保護者からは83.4%の肯定的な意見を得た。人前で発表することに抵抗は少なくなってきたが、今後も継続的に声かけをしながらサポートしていく必要がある。児童同士が話し合ったり発表したりする時間を増やし、主体的・対話的で深い学びを目指しながら、積極的に授業改善に取り組んでいく。

豊かな心について

Q6: 道徳の時間に、テーマについて一生懸命に考えている。

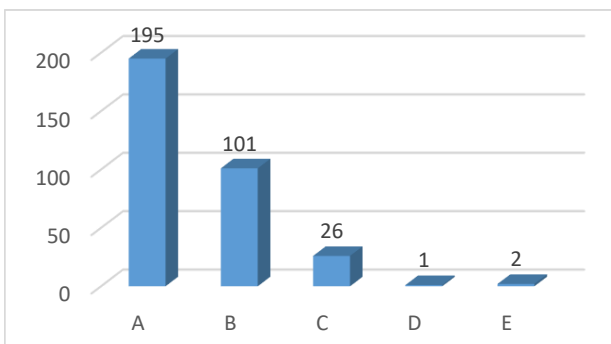


Q6: 学校は心の教育を目指し、工夫して道徳の授業を行っている。

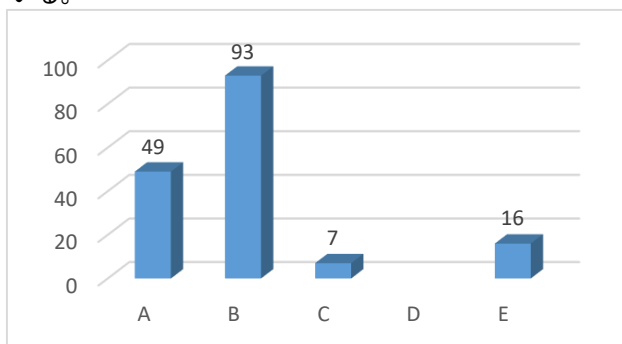


A・Bを合わせた肯定的な意見が児童が88.3%、保護者が75.2%である。授業参観時に保護者に道徳の授業を見てもらう機会を設けている。「特別の教科 道徳」と位置付けられ、学校教育活動全体で取り組む教科は道徳だけであり、授業で学びを様々な場で実践する意欲や力を育んでいる。授業中、自分や友達と対話しながら、道徳の価値について真剣に向き合う姿が多く見られた。

Q7: 「3つのあ」を守って生活している。

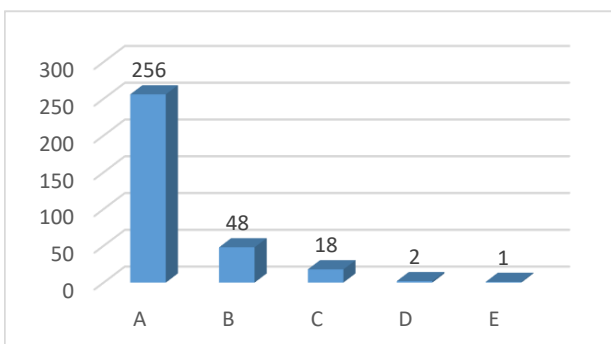


Q7: 学校は子どもの基本的な生活習慣を育てる支援をしている。

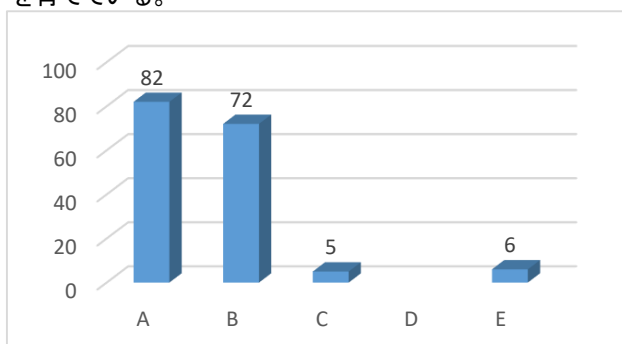


「北小っ子の一日」や「3つのあ(あいさつ・あんぜん・あつまりかた)」など生活目標を意識した生活が送れるよう指導している。A・Bを合わせた肯定的な意見が児童が91.1%、保護者が86.1%であり、肯定的な結果になっている。「学校以外でもあいさつをしてくれて嬉しい。」という保護者回答もあった。引き続き、学校と家庭が連携しながら指導の充実を図っていきたい。

Q8: 学校での体験活動や行事などは楽しい。

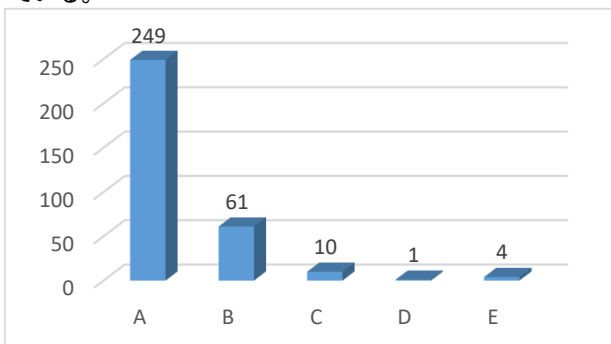


Q8: 学校での体験活動や行事を通じて、児童の豊かな心を育てている。

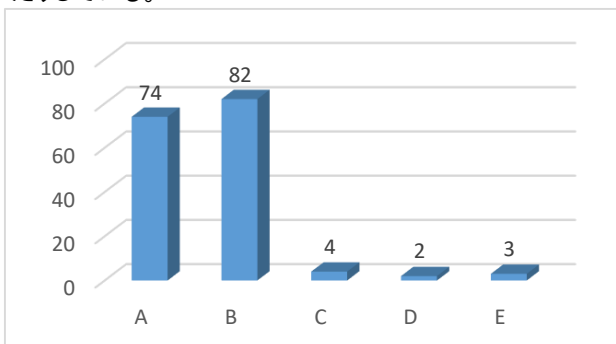


体験活動については、児童は93.5%、保護者は93.3%が肯定的な意見である。各学年、コロナ禍以前の様々な体験活動が復活し実施している。また、運動会の町民音頭では地域の方々と一緒に踊る貴重な時間を共有することができた。今後も引き続き学校行事の目指すところを明らかにしながら達成できるように、積極的に働きかけていきたい。

Q9: 私は学級での役割を果たしたり友達と仲良くしたりしている。



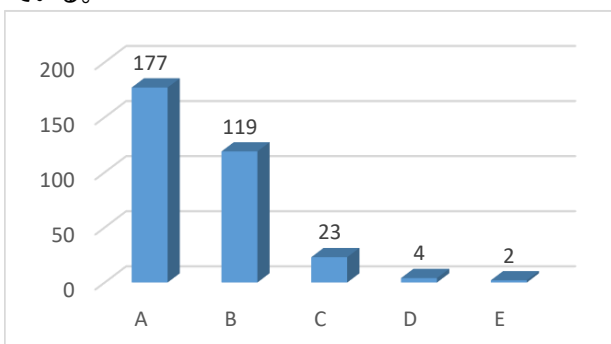
Q9: 子どもは、学級での役割を果たしたり友達と仲良くしたりしている。



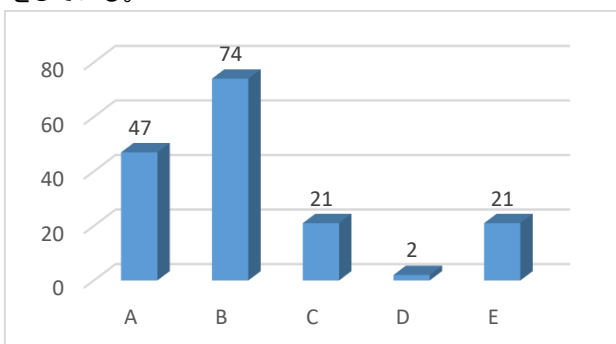
学級での様子では、児童は95.4%が役割を果たしたり友達と仲良くしたりしていると答えている。保護者回答の94.5%が肯定的な結果である。今後も家庭と連携し、学校の学びを家庭生活にもつなげていけるように、勤労意欲を高めていきたい。また、友達との関わりについても、様々な友達と一緒に活動する場面を設け、居がいのある環境づくりを継続していきたい。

健康・安全について

Q10: みんなが安心して気持ちよく生活できるよう行動している。

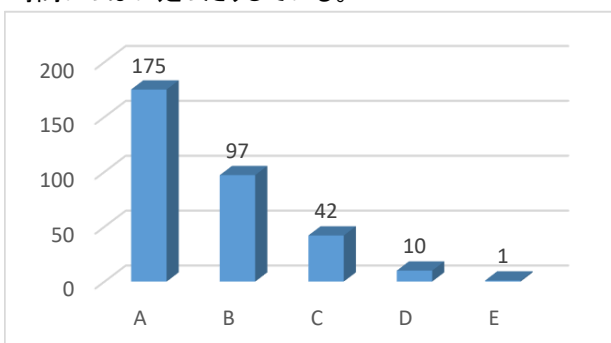


Q10: 学校は子ども一人一人に応じたきめ細やかな指導をしている。

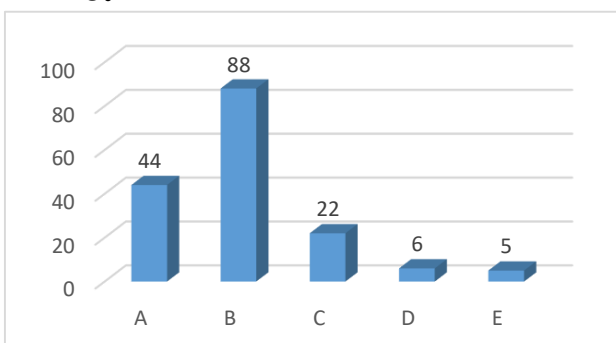


健康で安全な生活にするために、毎日の健康観察を行い、環境衛生検査や清掃指導を実施した。児童の91.1%は安心して生活できるよう行動したと回答している。保護者からは73.3%が概ねできているとの回答を得た。様々な感染症防止対策や早期対応を継続し、今後も学校と家庭で連携し、健康・安全な生活や望ましい生活習慣が確立できるようにしていきたい。

Q11: 給食を残さず食べようと努力したりランRUNタイムで時間いっぱい走ったりしている。

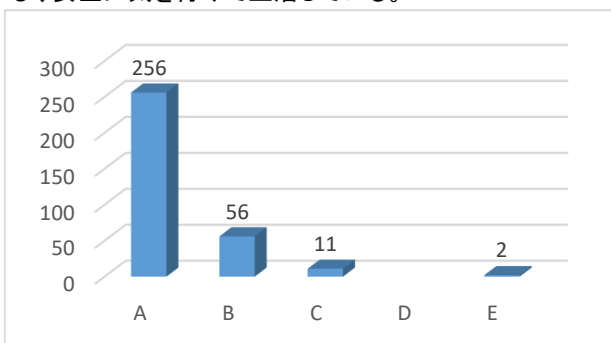


Q11: 子どもは健康を考えて、食事や体力づくりに気をつけてる。

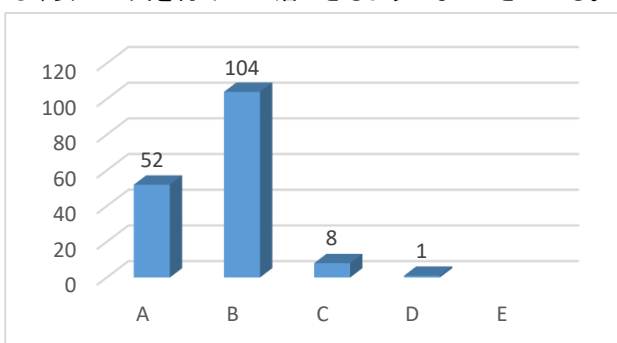


食生活や健康作りについては、児童が83.7%、保護者が80.0%が概ねできているとの回答を得た。地元食材をふんだんに使った栄養バランスの良い給食の時間を中心に、食に関する指導の充実を図っている。今後も、健康な体づくりに必要なことを発達段階に応じた理解を図り、自ら管理していく力を身に付けることができるよう、学校と家庭が連携して進めていきたい。

Q12: 避難訓練や交通安全教室など、安全について学び、安全に気を付けて生活している。



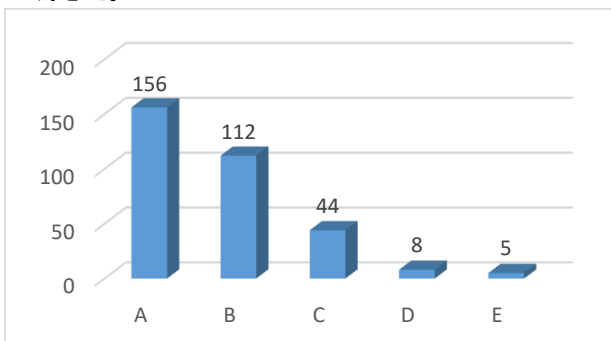
Q12: 子どもたちは災害安全や交通安全等について学び、安全に気を付けて生活できるようになってきている。



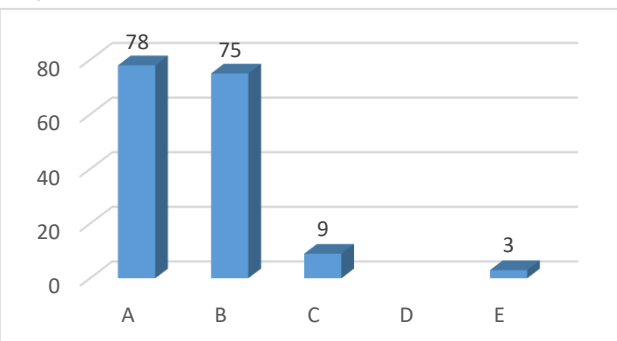
「安全に気を付けて生活している」という肯定的な回答は、児童が96.0%、保護者が94.5%である。今年度も、登下校時における日常的な交通安全指導や学期初めの教員による登校指導、交通安全教室の実施、年3回の避難訓練等、計画的に学校教育の推進に取り組んできた。日常生活において危険な状況を適切に判断し、主体的に行動する態度を身につけられるよう学校と家庭が連携して進めていきたい。

地域とともにある学校について

Q13: 地域に出かけたり地域の方とふれあったりする活動が好きだ。

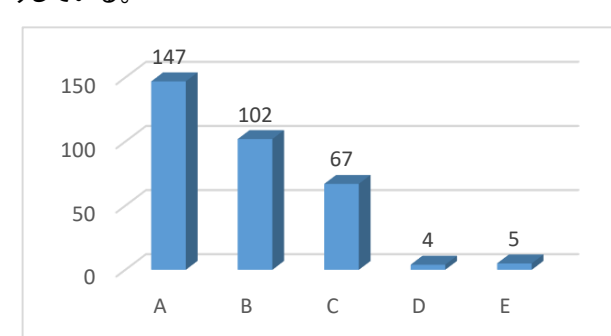


Q13: 学校は各種たよりやHPで学校の様子を知らせている。

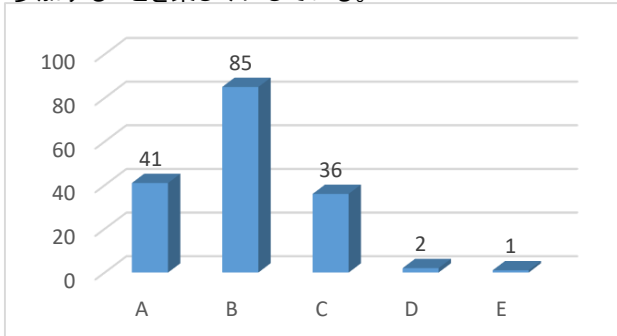


地域へ出かけたり地域の方とふれあったりする活動に関しては、児童の82.5%が肯定的な回答である。学校からのたよりやHPについては保護者の92.7%が肯定的な回答である。2年目となる「はがまるふるさと学校」では、内容もより充実し、地域の方々から体験活動や講話を通して多くの事を学ぶ児童の姿があった。校外学習で、保護者やボランティアの方々と一緒に地域に出かける機会も増えた。

Q14: 地域の方にあいさつしたり、地域の行事に参加したりしている。



Q14: 子どもは地域の方にあいさつしたり、地域の行動に参加することを楽しみにしている。



A・Bを合わせた肯定的な意見が児童が76.6%、保護者が76.4%である。地域の方にあいさつしたり地域の行事に参加したりして地域とつながりを持つ経験は大変重要である。「地域の行事日程を知りたい。」という児童の回答もあったので、引き続き学校と地域の連携を図っていきたい。